

# 平成24年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年2月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,320億円余
2. 前年同月比	-3.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.1%(91.5%) : 非店頭-20.9%(8.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-1.5%)
6. 総従業員数	18,846人 (前年同月比:-8.0%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -1.2%、7-9月 -2.5%、8-10月 -2.8%、 9-11月 -2.8%、10-12月 -1.4%、11-1月 -1.7%

[参考] 平成23年1月の売上高増減率は+1.4% (店舗数調整後)

### 【1月売上の特徴】

- (1) 都内各店の入店客数は、第三週週末の降雪が大きく影響し、ほぼ全店で前年同月比2%~3%前後の減少であった。
- (2) 強い寒気の影響で、特に防寒アイテムは好調に推移した。具体的にはコート、セーター、マフラー、帽子、ブーツ、手袋等がよく動いた。
- (3) 内食志向の高まりを背景に、惣菜(+3.3%)や生鮮食品(+2.6%)が好調であった。これには地方物産展などの食品催事が積極展開されたことも寄与している。
- (4) 外商が苦戦したことや、ホテル等で開催される店外催事が雪の影響で不調だったことから、非店頭売上が下げ幅を広げる結果となった。
- (5) バレンタイン商戦の前半は、絆消費や自家需要の高まりを受けて、各社趣向を凝らした商品企画・売場強化を図った結果、前年を上回るペースで推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)  
①増加した: 2店、②変化なし: 3店、③減少した: 14店、④不明: 2店
- (3) 1月歳時記 (初売り、冬的全館セール、成人の日) の売上 (同上)  
①増加した: 5店、②変化なし: 3店、③減少した: 6店、④不明: 7店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)  
①増加する: 3店、②変化なし: 10店、③減少する: 6店、④不明: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2012年01月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>132,090,563</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.1 ( -2.9)</b>
紳士服・洋品	13,450,730	10.2	5.0
婦人服・洋品	34,194,490	25.9	-2.5
子供服・洋品	2,710,794	2.1	3.7
その他衣料品	2,703,585	2.0	-13.2
<b>衣 料 品</b>	<b>53,059,599</b>	<b>40.2</b>	<b>-1.0</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>17,479,058</b>	<b>13.2</b>	<b>-6.2</b>
化粧品	5,986,388	4.5	-1.7
美術・宝飾・貴金属	5,368,339	4.1	-3.5
その他雑貨	6,684,619	5.1	-4.0
<b>雑 貨</b>	<b>18,039,346</b>	<b>13.7</b>	<b>-3.1</b>
家 具	1,878,649	1.4	-2.3
家 電	725,800	0.5	-11.3
その他家庭用品	4,751,203	3.6	-3.4 ( -3.4)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,355,652</b>	<b>5.6</b>	<b>-4.0 ( -4.0)</b>
生 鮮 食 品	4,548,371	3.4	2.6 ( 5.6)
菓 子	7,577,722	5.7	-1.4 ( -0.4)
惣 菜	6,566,292	5.0	3.3 ( 4.7)
その他食料品	9,294,432	7.0	-10.0 ( -9.5)
<b>食 料 品</b>	<b>27,986,817</b>	<b>21.2</b>	<b>-2.9 ( -1.7)</b>
食 堂 喫 茶	3,169,609	2.4	-0.4
サ ー ビ ス	1,990,816	1.5	-5.1 ( -5.1)
<b>そ の 他</b>	<b>3,009,666</b>	<b>2.3</b>	<b>-19.9 ( -19.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)  
※

商 品 券	2,783,246 千円	-71.0
従 業 員 数	18,846 人	-8.0
店 舗 面 積	915,720 m <sup>2</sup>	-1.5

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、8か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、紳士服・洋品が4か月連続、子供服・洋品が2か月連続、惣菜が6か月連続のプラス、生鮮食品が4か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-3.1	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	5.0	0.5	4か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.5	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	3.7	0.1	2か月連続プラス
その他衣料品	-13.2	-0.3	45か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-1.0	-0.4	2か月ぶりマイナス
<b>身のまわり品</b>	-6.2	-0.9	3か月連続マイナス
化粧品	-1.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-3.5	-0.1	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.0	-0.2	5か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-3.1	-0.4	4か月連続マイナス
家具	-2.3	0.0	10か月連続マイナス
家電	-11.3	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-3.4	-0.1	3か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	-4.0	-0.2	2か月連続マイナス
生鮮食品	2.6	0.1	4か月ぶりプラス*
菓子	-1.4	-0.1	2か月ぶりマイナス*
惣菜	3.3	0.2	6か月連続プラス*
その他食料品	-10.0	-0.8	12か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-2.9	-0.6	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-0.4	0.0	5か月連続マイナス
サービス	-5.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
<b>その他</b>	-19.9	-0.6	7か月連続マイナス
<b>商品券</b>	-71.0	-5.0	9か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>